

# モビリティ・フォー・オール @ 岐阜



スマートモビリティは、全世界が抱えている高齢化社会の問題解決するキーテクノロジーの一つである。Level 5完全自動運転の実現に向け研究が進められ、自動車だけでなく都市環境や交通システム、生活様式までを含めた新たなモビリティの革命が提案されている。これらの技術は、高齢化が進み、孤立を深める地方において大きな変革を起こすことが期待される。山岳地方が多い岐阜県では、このモビリティ革命を試行するのに最適である。

本プロジェクトでは、自動運転技術、人工知能、コンピュータービジョン、ロボティクス、ICT、HMIなど複数の分野を統合し、都市だけでなく地方まで適切なスマートモビリティをもたらすことを目的とする。その技術課題として、本プロジェクトでは以下を掲げる：

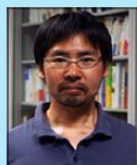
- 既存の交通手段のための低コスト導入しやすいAI運転支援モジュールの研究開発
- 地方向けモビリティの技術課題調査と、関連技術開発
- 高齢者でも活用できる自動運転技術、ならびに社会基盤開発
- ドライバーとAIのコラボレーション技術。ドライバーアシスト。ドライバーの快適度解析
- 自動配送車、搬送車による高齢者の生活、労働支援技術の開発。



カルバヨ アレックスサンダー



加藤邦人



寺田和憲



清水恒輔



倉内文孝